

高橋 明男
法学研究科・教授

[研究]

研究代表者を務める科研費・基盤研究(C)「公的文書の管理・保存におけるアーキビストとジェネラリストの役割に関する比較研究」(2020年度～2023年度)の資金により、2023年11月4日(土)に、国際研究集会「公文書管理制度の発展のための条件整備―専門職・アーキビストの役割に着目して―」を主宰した。集会では、研究代表者による「公文書の管理・保存と内部統制―専門職としてのアーキビストの役割―」を初めとする各研究分担者の研究報告のほか、台湾の国立中正大学教授の劉建宏氏とモンゴル最高裁判所附属研究所長のバトルガ・ドゥルゲーン氏の招待報告が行われた。

また、研究代表者を務めた2010～2012年科研費(課題番号22402014)と2014～2017年度科研費(課題番号26301010)の資金により行ったドイツの現地調査の記録の取り纏めの連載を開始した。

[教育]

学部においては、大教室における講義科目として「行政法2」と「地方自治法」を担当し、演習形式の科目として、「演習」・「法政基礎演習」・セミナーにおいて行政法演習を担当したほか、「自治体インターンシップ演習基礎」「自治体インターンシップ演習応用」において、地方公共団体等におけるインターンシップ実習を組み込んだ科目を担当した。

大学院においては、「行政法」を開講したほか、アーカイブズが主宰する「アーキビスト養成・アーカイブズ学研究コース」の必修科目である「情報管理法」を担当し、国立公文書館の認証アーキビストの要件である専門課程を担った。

[管理運営]

アーカイブズの運営委員として、2025年3月末に任期満了を迎えるアーカイブズの専任教員の勤務継続のための方策を検討し、関係方面に対する種々の働きかけを行った。

[社会貢献]

大阪府の監査委員は2期目(1期4年)に入り、定期監査の分担や住民監査請求への対応を担当してきたが、2023年12月から代表監査委員に就任し、監査委員協議会の主催等の代表監査委員としての職務を遂行している。

吹田市の情報公開・個人情報保護審査会の会長、豊中市の行政不服審査会の会長、京都府長岡京市の情報公開・個人情報保護審査会及び行政不服審査会の会長等の地方公共団体における行政委員を務めているほか、独立研究法人日本原子力研究開発機構の情報公開委員を歴任している。